

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

令和3年12月29日公表

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	○		法令の基準を上回る十分な広さを確保しており、個別療育をはじめ活動スペースを分ける等、状況に応じて適宜上手く活用しています。	利用児童一人当たりの広さは、法令基準を十分に満たしているため、活動に応じて席の配置を工夫し、より良い環境づくりに努めてまいります。
	2	○		現在、児発管1名、保育士2名、児童指導員3名、専門職員1名が在籍し、配置基準以上の人員数を配置しています。	今後も同様に適切な人員を確保・配置してまいります。
	3	○		室内は、児童にわかりやすい構造で対応しております。 建物の構造や階数もあり、バリアフリーにはなっていませんが、児童が移動する際には一緒に行動し、安全に配慮しています。	11月には新店舗への移転しますが、床は全面フラットになっております。今後も職員間で話し合い、工夫を重ねて改善に努め、より良い環境を目指してまいります。
	4	○		定期的なミーティングやリフレクション会議等で職員間の情報交換や共有を図り、個人の課題の把握、目標設定、振り返り等をおこなうPDCAサイクルを取り入れています。	今後も職員間の情報交換・共有・振り返りを徹底し、より良い支援、業務の改善に努めてまいります。
業務改善	5	○		保護者様にご協力いただいてアンケート調査を実施し、いただいたご意見は職員で周知・検討し、話し合いを持ち、改善へ向けた取り組みに努めています。	今回もいただいたアンケート結果をふまえ、職員間で話し合っており、業務改善に努めてまいります。
	6	○		COMPASS 発達支援センター公式 Web サイトにて公開しております。	今後も結果は公式 Web サイトで公開してまいります。
	7	○		現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
	8	○		年間研修予定を年度初めに計画し、毎月研修を行い、職員の質の向上、意識の向上に努めています。	今後も継続して研修を行い、職員の質の向上を図ってまいります。
適切な支援の提供	9	○		保護者様のご意向や、児童の特性を把握したうえで、客観的な分析を経て、支援計画を作成するよう心掛けています。	今後も保護者様のご意向を踏まえて作成した計画を全職員で理解し、日々の活動を支援してまいります。
	10	○		事業所の標準化されたアセスメントツールを活用し、児童の行動状況を把握しています。	今後も継続して正確にアセスメントできるよう、努めてまいります。
	11	○		児童の特性や課題を職員間で共有し、共通理解のもと、一人ひとりの目標に応じた課題や、季節に合ったプログラムをチームで立案しています。	今後も活動プログラムは随時チームで立案、計画してまいります。
	12	○		プログラムが固定化しないように、個別活動では、個々に必要な課題を提供し、集団活動では、季節感を味わい、生活体験に繋がるように工夫しています。	児童が意欲的に活動できる内容になるよう、今後も職員間でプログラムを工夫し、検討してまいります。
	13	○		平日は、継続的な学習課題に取り組み、長期休暇では、普段の学習課題に加えて、長期休暇中の目標を定めて、一人ひとりに適した活動課題を設定しています。	今後も引き続き、平日、休日、長期休暇に応じて、きめ細やかな課題を設定し、支援してまいります。
	14	○		個別活動、集団活動、特性や発達段階、年齢、保護者様のニーズに応じて計画的に組み込んでいきます。	今後も適切に個別と集団それぞれの活動を組み合わせ、支援計画を立案してまいります。
	15	○		前日の振り返りをもとに支援開始前に毎日打ち合わせをおこない、役割分担の確認を行っています。	今後も職員間での連携を図り、当日の流れ・支援内容や役割分担について情報共有のうえ支援に取り組んでまいります。
	16	○		支援終了後には送迎があり、打ち合わせが難しいので、翌朝に前日の振り返り、情報の共有を行っています。	日々の振り返りで成果に結びつくことや支援が必要な課題を話し合い、今後の支援に繋げてまいります。
	17	○		日々の療育内容を経過記録に記入し、職員間で情報共有し、すぐに検証と改善ができるよう努めています。	今後も継続して経過記録の記入を徹底し、より良い支援に繋がります。
	18	○		6カ月以内には必ずモニタリングを実施し、保護者様のご意向を踏まえて児童の現状を把握し、計画の見直しをおこなっています。	今後も定期的に児童の現状を把握し、保護者様のご意向を確認しながら、計画の見直しを図ってまいります。
	19	○		児童一人ひとりの課題や状況、支援計画の内容を考察し、ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援をおこなっています。	今後もガイドライン総則の基本活動を複数組み合わせながら児童の自立に向けた課題克服への支援ができるように努めてまいります。
	20	○		担当者会議には、児童の状況や保護者様のニーズを一番把握している児発管や、その児童に多く関わりを持つ職員が参加しています。	今後も、児発管や児童の状況をよく把握している担当が参加してまいります。
	21	○		行事予定等のプリントを事前に提示していただき、送迎の変更など情報伝達できています。また保護者様の許可を得たうえで、学校とも定期的に連絡をとり、共通理解に努めています。	今後も児童の学校での様子、事業所での様子を情報交換し、情報共有や連絡調整に努めてまいります。
	22	○		現在医療的ケアが必要な対象となる児童の受け入れはありません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
	23	○		児童が通っていた教育機関や支援事業所とは、話し合いの場を持ち、情報共有に努めています。	今後も情報共有を行い、関係機関との関係性を継続し、相互理解に努めてまいります。
	24	○		現在該当する児童はおらず、情報提供等に至っておりませんが、今後該当する児童が卒業する場合、情報を提供していきます。	今後、該当者がある場合には情報提供ができるよう、準備を行ってまいります。
	25	○		専門機関と連携し、情報交換をおこない、助言を受け、他事業所とも意見交換ができるよう連携を図っています。	今後も情報共有に努め、連携や研修を通して積極的に関わってまいります。
	26	○		現時点では、事業所主催の交流の機会を企画できておりません。	現在はコロナ禍のため、交流に関しては前向きに検討し、タイミングを図ってまいります。
	27	○		今年度はコロナ禍のため協議会への参加機会をもちませんでした。	コロナ収束後に、環境が整い次第、積極的に協議会等へ参加し、連携の強化に努めてまいります。
28	○		連絡帳のやりとりや送迎時、家庭連携の面談等を活用し、保護者様との情報交換をおこない、児童の現状や課題について、共通理解を深めています。	今後も引き続き保護者様との情報共有の充実を図り、共通理解に努めます。	
29	○		ペアレントトレーニングという形式での支援はしておりませんが、保護者様の悩みや困りごとを伺い、児童の関わり方についてアドバイスさせていただいております。	今後も継続して保護者様のお悩みに寄り添う支援に努めてまいります。	
保護者への説明責任等	30	○		契約時には、児発管が分かりやすい説明を心掛け、変更等があった際はその都度改めてご説明しています。	今後も引き続き、分かりやすく丁寧な説明を心掛けてまいります。
	31	○		日頃からコミュニケーションを図り、ご相談や質問、お悩みについてはご相談しやすく心掛けています。	今後も保護者様との信頼関係を大切に、日々の会話や面談での助言や支援ができるよう、心掛けてまいります。
	32	○		今年度は父母の会を開催することができていません。	コロナ収束後、保護者様のご意向に配慮しながら保護者様同士や職員との交流の機会を検討してまいります。
	33	○		苦情や申し入れには迅速に解決出来るよう努めております。適切な対応ができるように、小さなことでも報告するように心がけています。苦情をいただいた場合、全職員に周知し、ご意見と対応についての共通理解を図っています。	今後もご意見にはできるだけ迅速に対応し、必要に応じて家庭訪問等で早期解決に努めてまいります。
	34	○		Web サイトやLINE 公式アカウント等でブログの更新や事業所の様子を伝えてまいります。また年4回季刊誌を発行しています。	今後も情報発信を継続かつ保護者様にのご案内し、児童の活動を知っていただけるよう努めてまいります。
	35	○		個人情報の取り扱いに十分注意しており、関連書類は全て書庫に保管しています。ブログの写真掲載の際には保護者様に書面での同意をいただくように配慮しています。	個人情報は今後も細心の注意を払い、取り扱いや保管を行ってまいります。
	36	○		児童の特性や状況に合わせて分かりやすい手段での情報伝達に努めています。保護者様にも丁寧に伝わりやすい表現を心掛けています。	児童や保護者様にご理解いただけるように、分かりやすい説明や情報伝達を配慮し、個々に合わせた対応を心がけてまいります。
	37	○		今年度は、事業所のイベントに地域の方々を招待する機会はありませんでした。	コロナ収束後、保護者様のニーズを確認し、同意をいただいたうえで、児童と地域住民の方々と一緒に参加できるような行事の企画を検討してまいります。
	38	○		緊急時の対応マニュアルを作成しており、保護者様や職員にも見えやすい場所に掲示しています。	今後も継続してマニュアルを揭示し、職員・保護者様へお知らせしてまいります。
	39	○		毎年、年度初めに年間計画を立て地震・火事・風水害・不審者への対応などの避難訓練を定期的に行っています。	職員・児童が災害等に迅速に対応できるよう、防災意識を高める取り組みを継続してまいります。
非常時の対応	40	○		定期的な職員研修を実施し、虐待防止への理解と意識向上に努めています。	今後も社内外への虐待防止の研修に参加し、討議を続けてまいります。
	41	○		現時点で該当者はいませんが、利用契約書には、身体拘束の禁止が記載されており、生命または身体を保護するためにやむを得ず身体拘束を行う場合には、あらかじめ文書により保護者様の同意を得ることにしています。	今後も、原則として身体拘束を行わない基本姿勢を守ってまいります。保護者様には緊急時や命に係る事象が起きた場合、他に手段がないやむを得ない状況の場合に限っておこなわれることを十分に説明し、文書による同意を得て、個別支援計画にも記載してまいります。
	42	○		保護者様より面談時に詳しく情報をいただき、全職員で情報共有しています。また定期的な状況確認をおこない、情報を更新したり、室内の伝言板に記載したりして、全職員の周知に努めています。	今後も同様に、アレルギーについては職員への周知を徹底し、食べ物の提供をおこなう場合には細心の注意を行ってまいります。
	43	○		ヒヤリハット報告書を作成し職員で共有しています。ファイルで保管し、事例は振り返りをおこない、再発防止に努めています。	今後も記録の徹底と情報共有、認識一致のうえ振り返り、事故が起きることを防ぐ取り組みを継続してまいります。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。